

街路灯の増設

わたしたちの生活になくはならない道路。でも夜は暗く、安心して歩けない——という要望が多くあることから、いつもの年の2倍の予算を投入して、街路灯を増設することにしています。

〔1350万円〕

防災対策

かけがえない生命と財産を災害から守るための事業として、

①消防車や消防ポンプの購入
〔1100万円〕

交通安全対策

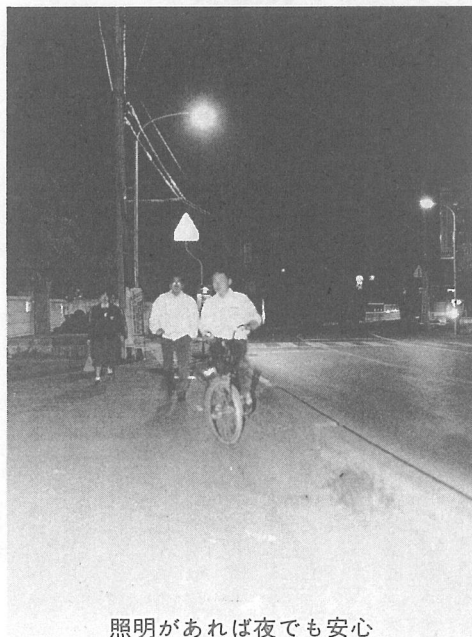
歩道の設置や、見通しの悪いところへカーブミラーや標識を取り付けるなど、交通事故の防止をすすめることにしています。
〔782万円〕

②防火水槽の建設

〔1080万円〕

③消防団員の現場での安全確保のための物資購入
〔277万円〕

のほか、新規事業としては、栗山川漁港付近の高潮対策として、排水ポンプを設置します。



照明があれば夜でも安心

まちの動脈を整備する

道路事業

町内を縦横に走る道路は、わたしたちの日常生活の動脈ともいえる施設です。ひと昔前までは未舗装の道路も見受けられましたが、ここ数年は、道路の整備に多額の予算を投入してきたことにより、一部の道路を除けば、そのほとんどが舗装されました。これからは、単に通るだけの道路から「道路+α」の機能をもたせた公共施設としての道路建設をしていくことにしています。



整備が急がれる道路側溝の工事現場

道路側溝の整備

雨水を排除するための側溝は、下水道がない当町では、生活排水としても重要な役割を果たすものとして、22路線、約4500mを実施することになっています。
〔1億円〕

舗装の修理

車社会がすすみ、舗装のいたみも早くなっているため、12路線で約3400mを修理するものです。
〔8000万円〕

道路の改良

緊急車も通れない狭い道路や曲がりくねった道路を改善するものです。7路線で1270mを実施。
〔4080万円〕

新たな舗装

道路の改良が済んだ路線を舗装することになっています。12路線で4500mを実施。
〔9400万円〕